

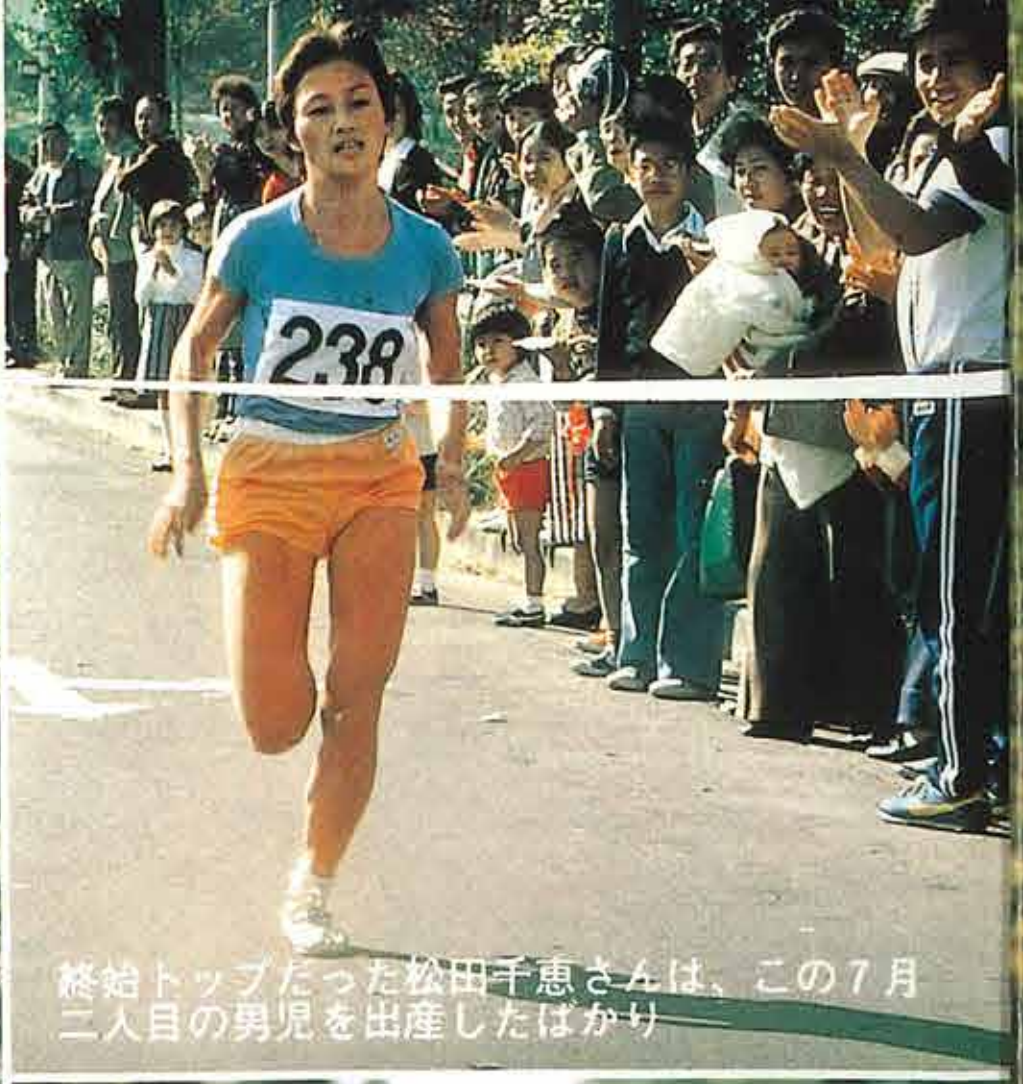
走った女は美しい 原宿女子ミマラソン



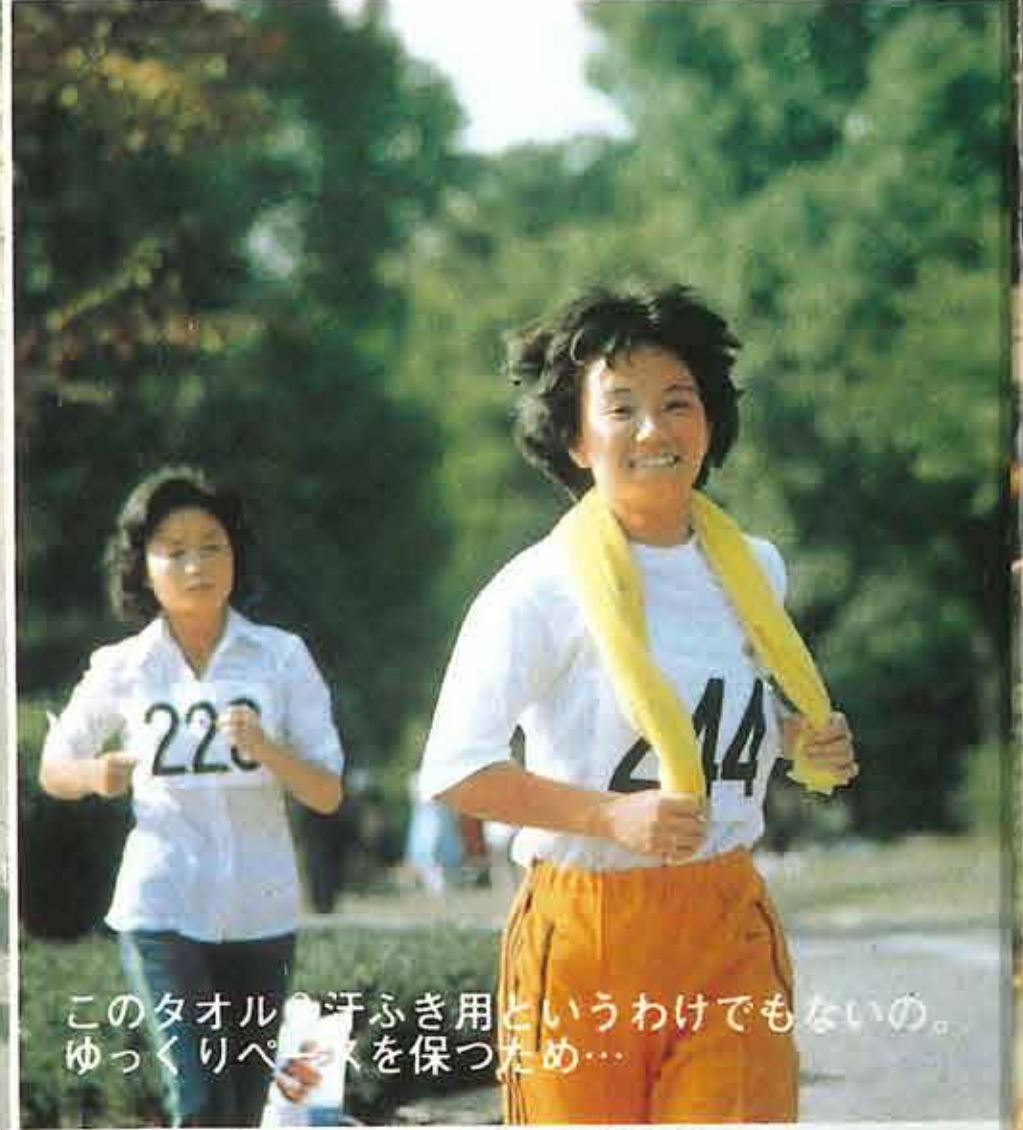
原宿のメイン通り、表参道を「占領」して走る女性たち



手を挙げてゴールなんて素敵、拍手もいちだんと高まりました



終始トップだった松田千恵さんは、この7月二人目の男児を出産したばかり



このタオルは汗ふき用というわけでもないの。ゆっくりペースを保つため...



ストップウォッチを片手に走る女性もいた。予定よりちょっと速かった



日本女性にもランニングを楽しむ人が増えて来ました、と完走後に説明した高橋さん



地元原宿のジョギングショップ「フットジョガー」店長の安藤さん(右)も仲間と完走

明治神宮の境内を走る——東京オリンピックのときさえ認められなかったという、長年のタブーを破って、十一月五日(日)、百人あまりの女性たちが、神宮の森を駆け抜けた。

十一月にしては暑いぐらいのポカポカ陽気だったが、神宮の木立のひんやりとした空気が心地良く、足も軽くてペースに乗る。七五三のお詣りに訪れた親子連れが、いとも不思議そうな表情で、われらの一団が通り過ぎるのを見守っていた。

この日走った女性は、大会常連組は比較的少なく、「五キロ走るなんて、今日が初めて」「学校卒業してから何年も走ってないんだけど」なんていう声があちこちから聞こえた。きつかけさえあれば、走ってみようかな—という女性がまだまだたくさんいる証拠のようだ。華やかな原宿の街は、「走る」こととの新しい出会いにふさわしい場所かもしれない。

表参道をスタートして、神宮を抜けるのと代々木公園。連休最終日どころも一杯の人出なのだが、みんな物珍らしい視線を投げかけるばかりで、声援のたぐいには出会わないのがちょっと寂しい。公園の外周の歩道では、難儀をしながら道ゆく人をかきわけて走ったほど...

集った多勢の報道陣をながめて、ふと思ってしまった。女子マラソンは、まだ「ショー」なのだろうか。